



習字体験…筆づかいが難しかった

市教育委員会主催

# 「神栖・ユーリカの中学生が相互訪問」

今年7月と8月、神栖・ユーリカ両市の中学生が短期交換留学生として11日間それぞれの市を相互訪問し交流を深め、小さな友好親善大使の役割を果たしました。

7月ユーリカから引率教師2名、生徒9名が来訪。ホームステイ先で落ち着いた一行は早速歓迎会に出席して交流のスタートを切りました。その後、自然や文化に触れながら、国際理解を深め「百聞は一見に如かず」の驚きや習慣を文字通り体験しました。一方、神栖からは8月1日から引率教師2名、生徒10名がユーリカを訪問して、ユーリカの中学生が日本で体験したと同様の友好親善と国際理解を深め、ひとまわり大きくなって元気に帰国したようです。その様子をスナップ写真と感想文で紹介します。



**ユーリカ市** カリフォルニア州サンフランシスコの北西約500kmに位置し、人口約二万五千人の郡の中心都市。周囲を海と山に囲まれ、漁業と林業が盛んで、観光にも力を入れている。



慣れない着物でちょっと緊張ぎみ



佐原山車会館でハッピーを着て笑顔の教師たち

## 両市中学生の感想

〈神栖市の中学生〉

〈ユーリカ市の中学生〉

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 寒い</li> <li>● 日差しが強いのに風が冷たい</li> <li>● とても自然が多い。にぎやか</li> </ul>	神栖・ユーリカの第一印象は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 看板が多く大きな建物があった</li> <li>● 礼儀正しく、親切な人がいる</li> <li>● 町が美しく、大きくてびっくりした</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 靴を脱がないこと。</li> <li>● 日曜日に教会へ行く事</li> <li>● デザートの甘さ</li> <li>● 日が暮れるのが夜の9時くらい</li> </ul>	生活・文化の違いで驚いたことは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校で上履きに履き替えること</li> <li>● 学校が長髪を許可しないこと</li> <li>● 平日、神社にたくさんの人がいた</li> <li>● 1枚の皿に多くの食べ物を盛らないこと</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大きなハンバーガー</li> <li>● すごく甘いケーキ</li> <li>● 厚いステーキ</li> </ul>	印象に残った食べ物は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● みそ汁、豆腐、わさびののったご飯</li> <li>● 麺をつゆにつけて食べるもの</li> <li>● 揚げもちが甘くなくておいしい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の出来る幅を広げるもの</li> <li>● とても素晴らしい活動だと思う</li> <li>● 大切なのは相手の文化や自分たちと違う所を認める事だと思う</li> </ul>	国際交流とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化や習慣をたくさん学ぶことが出来る</li> <li>● 異なった習慣を学ぶ素晴らしい方法だと思う</li> </ul>



海岸で海藻や貝を見つけました



早く食べたいなあ



みんなで作った灯ろうに火が灯ってGood!



鹿島港で「ユーリカ号」の乗船を楽しむ

### ユーリカ 姉妹都市交流

神栖・ユーリカ両市の姉妹都市盟約は、1991年11月17日、米・カリフォルニア州ユーリカ市で調印されました。国際化が急速に進展するなか、地域レベルの先導者として国際化の環境を整備し、総合的な国際化施策を推進するための第一歩として、日本と最も友好関係にあるアメリカの西海岸の小都市ユーリカ市を訪問し事前に情報を集めました。またユーリカ市からも来訪して「お互いに港を有し、自然と産業の良く調和されている面で共通性があるまち」と、相互理解をした上で、姉妹都市の提携をしました。国際友好親善を具体的に推進するため、1992年8月神栖町（当時）国際交流協会が設立され、文化スポーツ交流・語学教育・ホームステイ・広報・外国人のための生活相談などの活動を行ってきました。昨年、神栖・波崎両国際交流協会が合併して新しい神栖市国際交流協会となりました。